



TITLE:

經濟漫録(四)

AUTHOR(S):

瀧本, 誠一

CITATION:

瀧本, 誠一. 經濟漫録(四). 經濟論叢 1918, 7(3): 433-434

ISSUE DATE:

1918-09

URL:

<https://doi.org/10.14989/127424>

RIGHT:

經濟漫錄 (四)

瀧本 誠一

(四九) 經濟ノ語原 漢語ノ經濟ト云フコトハ一般ニ經世濟民ノ約語デアルトセラレテ居ルモ、佐田介石師ハ少シク異ナリタル解釋ヲ下シ、經濟度ノ略語トセリ、師ノ說デハ「東西ヲ經ト云ヒ南北ヲ緯ト云フ、經濟トハ般筏ニテコノ岸ヨリカノ岸ヘ濟ルノ義ナリ、故ニ經濟トハ往來ス

ルコトナリ、由テ物品ト金貨トヲ東西南北ノ人民ノ間ニ滯リナク往來セシムルヲ經濟ト名ヅク」ト説キ⁽¹⁾テ四方民間ニ物貨ヲ滯リナク往來セシメテ、融通ノ道ヲ開クヲ以テ經濟ノ本旨トスルコトヲ論ゼリ、勿論牽強附會ノ說ナルベキモ、佛者ダケノ解釋デアツテ又參考トスルニ足レリ

(五〇) 王制ノ作者 禮記ノ王制ハ古今支那學者ガ經濟ヲ談スルノ淵源ニシテ所謂經世濟民ノ大道即チ萬民ヲ安ンジ太平ヲ致スノ基本ハ之ヲ標的トスルニ過キナイノデアル、而シテ彼等ガ此ノ王制ヲ斯ク迄ニ崇拜尊重スル所以ハ其ノ實、作者ハ大聖人タル周公デアルト云フノ信用ニ歸因スルノデアツテ、始ヨリ此ノ信用ガ微ツセバ固ヨリソレ程ニ重キヲ置カレナカツタモノデアラフ、然ルニ後漢ノ何休ガ周官ヲ以テ六國陰謀ノ書トナシタル以來歷代學者ノ大問題トナリ、堂々タル碩學鴻儒中ニモ往々王制ハ聖作ニアラスシテ後人ノ僞作ナリト斷言スルモノアリ、余ノ淺學ナル未タ精確ノ考證ヲ得ザレトモ、南宋

(1) 栽培經濟論初篇上卷五枚目

禮經學ノ山斗魏了翁ノ禮記要義ニハ「王制ハ漢ノ孝文皇帝ガ博士諸生ニ命ジテ作ラシメタルモノナリ」ト記セリ、余ハ此ノ事實ハ何ノ證據ニ基ツキタルヤヲ知ランコトヲ欲スルナリ

五二甘藷先生 青木昆陽ヲ甘藷先生ト云ヒシハ彼ガ甘藷栽培ノ利益ヲ説キ其ノ普及ニ熱心ナリシ爲メノミニアラズ、彼ハ甚タシキ臚面^{アバタ}ノ男ナリケレバ、當時人々彼ヲ稱シテいも先生(時俗あばたヲいもト云ヘリ)ト稱シタル故ニ、旁々自分デモ甘藷先生ト唱ヘタルコトナリ云々ト、甲子夜話續篇ニ見ユ

五二蕃山經濟ヲ知ラス 海保青陵ノ著書中(稽古錄ナリシカト覺ユ)ニ熊澤蕃山ガ岡山デ夫ノ有名ナル新田ヲ築キ立テタルハ、其時大阪ヨリ高歩ノ金ヲ借り來リテ成就シタルモノナレバ、經濟上ドウシテモ引合ハス、百姓ハ之ガ爲メ却テ大ニ困難シテ、後々マデ禍ヲ貽シタル由或ル老人ノ話ナリト記ルシアルヲ見タルコトアリシガ、蕃山ハ如何ニモ無計算ノ人ナリシト見ヘ、會田安明ノ管見論⁽²⁾ニ水利ノ事ヲ論シタル中左

ノ一節アリ

野州ニ熊澤堤ト稱スルアリ、足利渡瀬ノ川除ナリ……足利ハ北面山ニ續キ地高シ、南方ハ渡瀬川ナレバ彼ノ堤破ルモ田畑ノ害ヲ爲サズ斯ル所ニ大金ヲ費ヤシ大堤ヲ築立ツルハ何事ゾヤ、案スルニ利根渡瀬邊ハ大炊侯御助成ノ時熊澤モ掛リテ、百姓ニ欺カレ大金ヲ費シ作レルナルベシ云々

是レハ蕃山ガ古河ニ移住セシ後ノ事ナルベキガ、果シテ左ル事實ノアリシモノニヤ

五三徂徠ト東涯ノ學說ノ差異 徂徠ハ覇術ヲ説キ東涯ハ王道ヲ述ブ、徂徠ハ刑名ヲ主トシ東涯ハ教化ヲ重シトス、近世的ノ語ヲ以テ之ヲ評スレバ徂徠ハ法治國ヲ理想トシ東涯ハ教化國ヲ理想トスルモノナリ

(2) 安明編纂遺老物語繼篇卷二ニ收録ス